



平成25年8月9日

## 「未来医療研究人材養成拠点形成事業」の選定結果

本年度から開始する「未来医療研究人材養成拠点形成事業」について、別紙のとおり選定事業を25件決定しました。

### 1. 事業の背景・目的

本事業（平成25年度予算額：22.5億円）では、急速に進展する高齢化等に伴う医療課題の解決に貢献し、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するため、下記のテーマA・テーマBについて、新規性・独創性の高い特色ある取組にチャレンジする大学の事業を選定し支援します。

#### 【テーマA】メディカル・イノベーション推進人材の養成

本テーマは、世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に多大に貢献するため、世界の最先端医療の研究・開発等をリードし、将来的にその成果を国内外に普及できる実行力を備えた人材（イノベーションを推進できる人材）を養成することを目的とします。

#### 【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成

本テーマは、国民が将来にわたって安心して医療を受けられる環境を構築するため、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成することを目的とします。

### 2. 事業概要

選定件数：テーマA・テーマBあわせて20～25件程度

補助金額：1件につき5千万円～2億円程度／年

事業期間：平成25年度から5年間以内（予定）

### 3. 選定結果（詳細は別紙のとおり）

【テーマA】メディカル・イノベーション推進人材の養成 10件（申請件数38件）

【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成 15件（申請件数59件）

#### 4. 選定方法

専門家・有識者により構成された「未来医療研究人材養成推進委員会」で審査を行い、決定しました。

【参考】本事業に関する情報を文部科学省ホームページに掲載しています。

※8月中下旬に「選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント」及び選定大学の申請書を文科省HPに掲載予定

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/1332981.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/1332981.htm)

<p>&lt;担当&gt; 高等教育局医学教育課 課長補佐：岩瀬 鎮 男 医学教育係長：菊池 博 之 電 話：03-6734-3306</p>
---

## 未来医療研究人材養成拠点形成事業 選定結果一覧

### 【テーマA】メディカル・イノベーション推進人材の養成

申請件数: 38件 選定件数10件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	群馬大学		地域オープンイノベーションR&D人材養成 ～医療開発研究のスタートからゴールまでを一貫する産官学連携教育・研究プログラム～
2	国	千葉大学		未来医療を担う治療学CHIBA人材養成
3	国	東京大学		臨床発実用化マネジメント人材養成拠点
4	国	東京医科歯科大学		IQ・EQ両者強化によるイノベーター育成 ～IQ(高い知能・技能)とともにEQの強化を基点とした、医療現場の変革を可能にするイノベーターの育成とイノベーション文化の醸成～
5	国	金沢大学		第三の道: 医療革新を専門とする医師の養成
6	国	大阪大学		国際・未来医療のための人材養成拠点創生
7	国	鳥取大学		革新的未来医療創造人材の養成 ～鳥大発独自教育プログラム「発明楽」の実践～
8	国	九州大学	福岡大学 久留米大学 産業医科大学	イノベーションを推進する国際的人材の育成 ～アジアの表玄関における4大学双方向性教育連携～
9	国	長崎大学		「医工の絆」ハイブリッド医療人養成コース ～出島マインドで医療ものづくり～
10	私	東京女子医科大学		医療機器実用化の為に突破力促成プログラム ～臨床と医理工教育を複合させたイノベーション人材育成環境の創出～

## 【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成

申請件数:59件 選定件数15件

No	区分	申請担当大学名	連携大学名	事業名
1	国	東北大学		コンダクター型総合診療医の養成
2	国	筑波大学		次世代の地域医療を担うリーダーの養成
3	国	千葉大学		超高齢社会に対応する総合診療医養成事業 ～地域と大学でロールモデルを継続的に育てる仕組みを作る～
4	国	東京大学		新しい大学－地域間連携での研究人材育成
5	国	新潟大学	新潟医療福祉大学 新潟薬科大学	オール新潟による『次世代医療人』の養成
6	国	富山大学		地域包括ケアのためのアカデミックGP養成
7	国	三重大学		三重地域総合診療網の全国・世界発信
8	国	大阪大学		地域に生き世界に伸びる総合診療医養成事業 ～超高齢社会を切り拓くリーダー型高度医療人養成～
9	国	島根大学	神戸大学 兵庫医科大学	地方と都会の大学連携ライフイノベーション
10	国	岡山大学		地域を支え地域を科学する総合診療医の育成
11	国	九州大学		地域包括医療に邁進する総合診療医育成 ～九州大学総合診療科を活用した総合的臨床とヘルスサービスリサーチ教育プログラム～
12	国	長崎大学	長崎純心大学	つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 ～人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成～
13	公	札幌医科大学		北の地域医療を支える総合診療医養成プラン
14	公	名古屋市立大学	名古屋学院大学 名古屋工業大学	地域と育む未来医療人「なごやかモデル」
15	私	東京慈恵会医科大学		卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発 ～地域における臨床研究の推進を目指して～

## 未来医療研究人材養成推進委員会委員名簿

◎は委員長 ○は副委員長

- |   |                    |                                    |
|---|--------------------|------------------------------------|
|   | あきやま まさこ<br>秋山 正子  | 株式会社ケアーズ代表取締役<br>白十字訪問看護ステーション統括所長 |
|   | いけだ やすお<br>池田 康夫   | 早稲田大学理工学術院教授                       |
| ◎ | おおしま しんいち<br>大島 伸一 | 国立長寿医療研究センター総長                     |
|   | きりの たかあき<br>桐野 高明  | 独立行政法人国立病院機構理事長                    |
|   | こもり たかし<br>小森 貴    | 公益社団法人日本医師会常任理事                    |
|   | こんどう たつや<br>近藤 達也  | 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長               |
|   | さかい つねお<br>堺 常雄    | 一般社団法人日本病院会会長                      |
| ○ | さるた たかお<br>猿田 享男   | 公益財団法人医療研修推進財団理事長                  |
|   | つじ てつお<br>辻 哲夫     | 東京大学高齢社会総合研究機構特任教授                 |
|   | つだ たかこ<br>津田 喬子    | 名古屋市立東部医療センター名誉院長                  |
|   | とよだ ながやす<br>豊田 長康  | 鈴鹿医療科学大学長                          |
|   | ふくい つぐや<br>福井 次矢   | 聖路加国際病院長                           |
|   | ふるや あやか<br>古屋 彩夏   | JR東京総合病院小児科医長                      |

(五十音順 敬称略 計13名)

## 未来医療研究人材養成推進委員会 ペーパーレフェリー名簿

※ペーパーレフェリーは、書面審査を分担して実施

### 【テーマA】メディカル・イノベーション推進人材の養成

浅田 祐士郎	宮崎大学医学部教授
飯田 香緒里	東京医科歯科大学産学連携研究センター長
石埜 正穂	札幌医科大学医学部教授
狩野 光伸	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授
小早川 雅男	国立国際医療研究センター病院臨床研究相談室長
齊藤 延人	東京大学大学院医学系研究科教授
坂中 千恵	医薬品医療機器総合機構特任職員
澤 芳樹	大阪大学大学院医学系研究科教授
堀部 敬三	国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター長
八重樫 伸生	東北大学大学院医学系研究科教授
柳田 素子	京都大学大学院医学研究科教授

(五十音順 敬称略 計11名)

### 【テーマB】リサーチマインドを持った総合診療医の養成

浅見 豊子	佐賀大学医学部附属病院診療教授
有岡 宏子	聖路加国際病院部長
井藤 英喜	東京都健康長寿医療センター長
葛西 龍樹	福島県立医科大学医学部教授
菊地 正悟	愛知医科大学医学部教授
木下 牧子	医療法人愛の会織島病院院長
小泉 俊三	財団法人東光会七条診療所所長
小林志津子	東京医科大学医学部兼任講師
四方 哲	三重県立一志病院院長
玉腰 暁子	北海道大学大学院医学研究科教授
中村 順子	秋田大学大学院医学系研究科教授
新田 國夫	医療法人社団つくし会理事長
林 純	特定医療法人原土井病院九州総合診療センター長
堀江 重郎	順天堂大学大学院医学研究科教授
松井 邦彦	山口大学大学院医学系研究科教授
丸山 泉	医療法人社団豊泉会理事長
安田あゆ子	名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部副部長
山田 隆司	地域医療振興協会地域医療研究所所長

(五十音順 敬称略 計18名)



# リサーチマインドを持った総合診療医の養成

## 課題

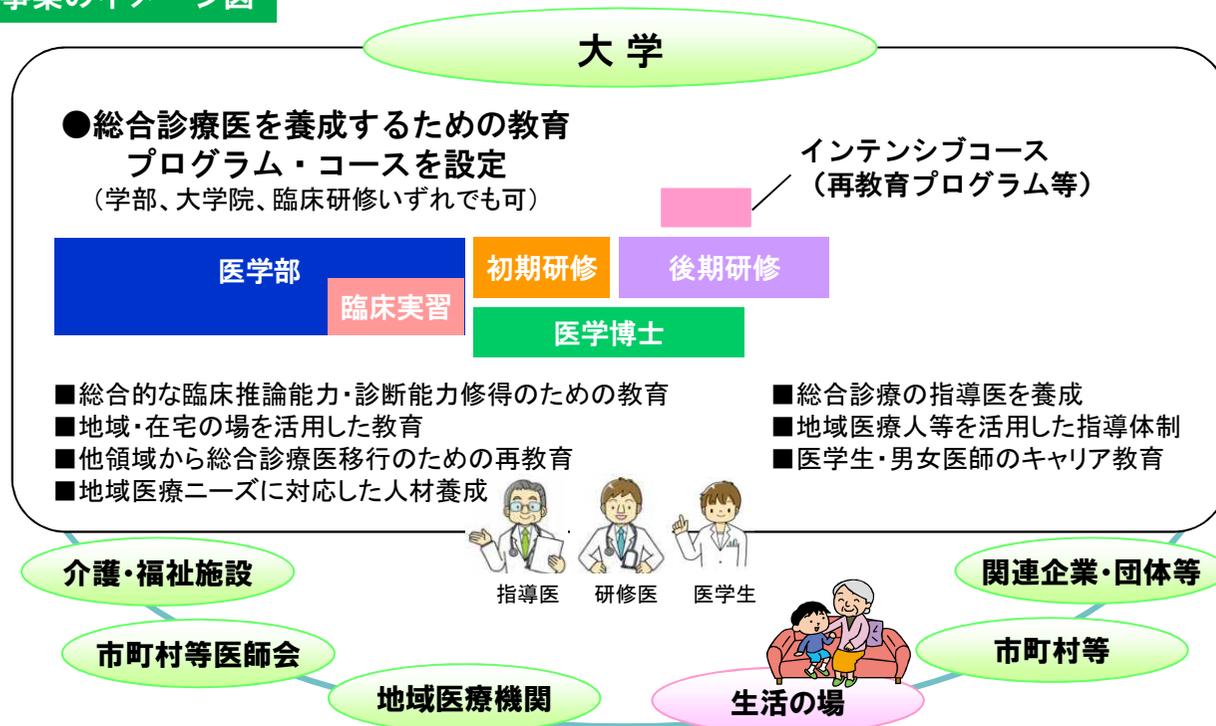
◇急速な高齢化の進展が見込まれるなか、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」の5つの要素を柱とした「地域包括ケアシステム」が各市町村で実現できるかどうか新たな課題  
 ◇特に、医療面では、高齢者に対して、多様な医療（総合診療、在宅医療、認知症対応、緩和ケア、在宅看取り等）を包括的かつ柔軟に提供することが必要  
 ◇さらに、高齢社会に伴う医療ニーズの変化に対応し得るリサーチマインドを持ち、医療の進歩と改善に資する臨床研究を遂行できる医師が必要

## 対応

◇各大学が理念や強み、特色、地域性等を活かして、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成

※「事業のイメージ図」はあくまでも例ですので、各大学の自由な発想で優れた事業計画を立案してください。

## 事業のイメージ図



## <アウトプットの例>

### ○医療のパラダイムシフト

(例)  
 専門医療 → 専門医療・総合診療  
 入院・外来医療 → 入院・外来・在宅医療

### ○地域包括ケアに貢献できる人材

- ・総合的な診療能力を持った人材
- ・全人的医療ができる人材
- ・高齢者医療ができる人材
- ・多職種連携・チーム医療・リーダーシップのとれる人材

### ○男女医師のキャリア形成

## 取組例①

充実した機能を持つ大学病院総合診療部を活用した総合診療医の養成

## 取組例②

在宅医療(地域包括ケア)に重点を置いた総合診療医の養成

## 取組例③

老年医学・予防医学等に関する研究に貢献する総合診療医の養成

## 取組例④

(各大学の自由な発想でご検討ください)